

サブドレン他水処理施設の運用状況等

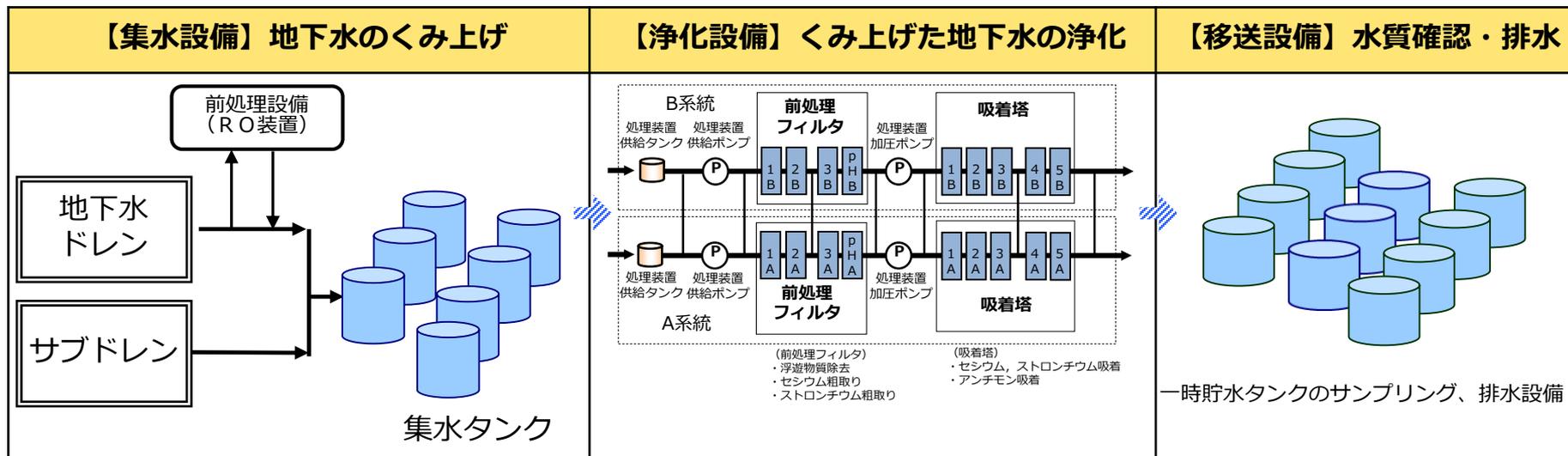


2025年5月29日

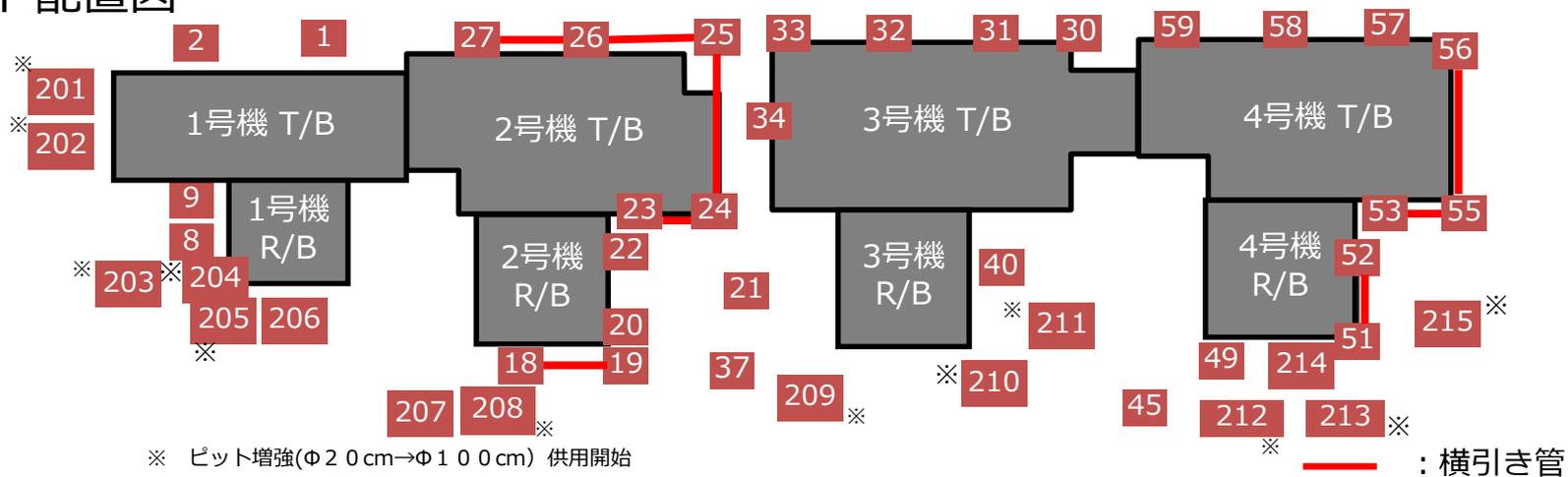
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成



・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2021年5月13日～T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレンピットNo.21は、2号機燃料取り出し構台の設置工事に干渉するため、移設を行い、2022年10月7日より稼働を開始した。
- サブドレンNo.40ピットにて2022年4月21日に油分（低濃度PCB含有：0.56mg/kg）をうけ、周辺ピット（No.40,210,211ピット）の停止及び油分拡散抑制として、鋼矢板の設置等を行い、2023年10月2日よりNo.210,211ピットを再稼働し、2023年11月8日から連続運転に移行した。
- その他トピックス
 - ・サブドレンNo.207ピットは、2024年6月末のポンプ交換作業時に井戸内への珪砂流入を確認したことから、ポンプ位置を見直し、稼働を継続していたが、増強ピットへの移設に係る工事も並行して実施してきており、工事完了を受け、2025年5月19日から207増強ピットにて短時間稼働で運用を開始した。



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 m）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2025年5月19日までに2,688回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

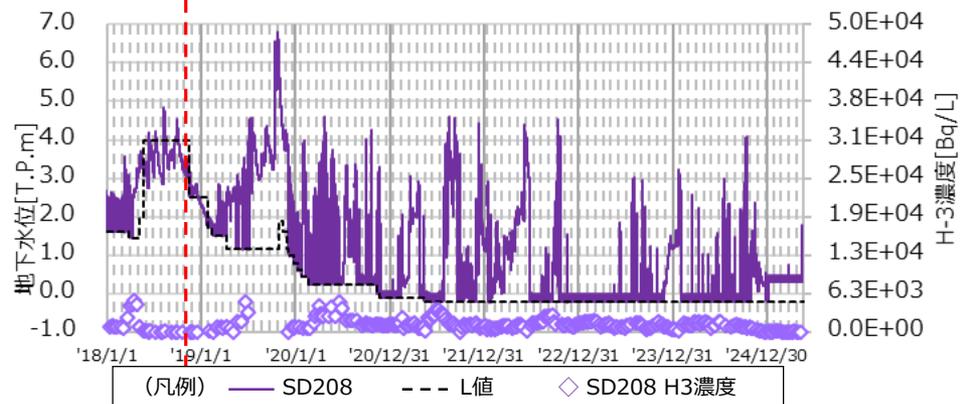
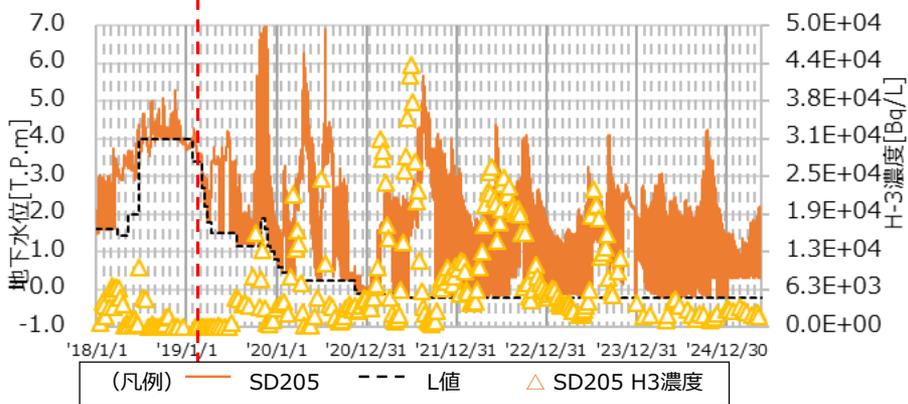
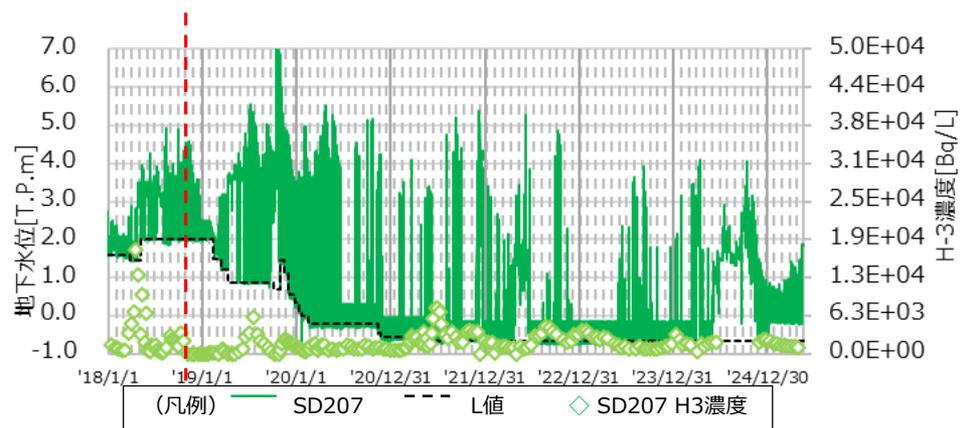
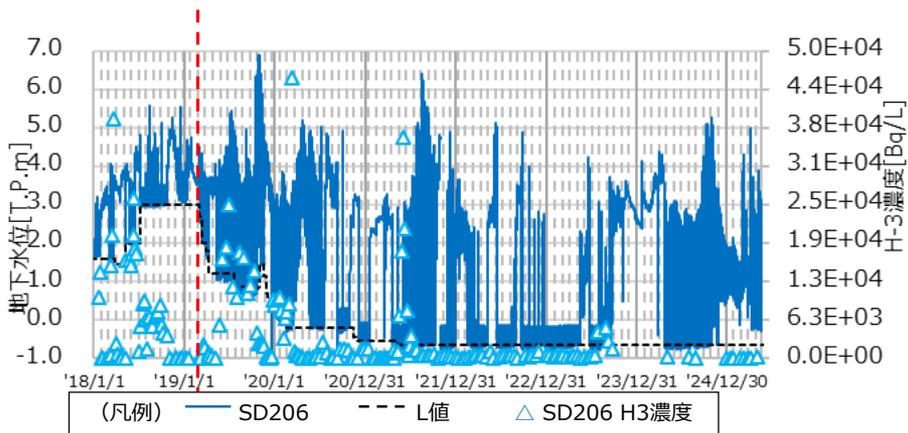
排水日		5/13	5/15	5/17	5/18	5/19
一時貯水タンクNo.		H	F	D	B	E
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	5/8	5/10	5/12	5/5	5/14
	Cs-134	ND(0.81)	ND(0.81)	ND(0.66)	ND(0.84)	ND(0.82)
	Cs-137	ND(0.82)	ND(0.68)	ND(0.79)	ND(0.93)	ND(0.78)
	全β	ND(0.67)	ND(1.8)	ND(1.8)	ND(2.1)	ND(5.2)
	H-3	540	530	560	680	520
排水量 (m ³)		1,027	1,011	1,004	901	1,003
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	5/6	5/8	5/10	5/11	5/12
	Cs-134	ND(3.6)	ND(3.6)	ND(4.7)	ND(4.2)	ND(3.7)
	Cs-137	72	74	54	110	65
	全β	380	—	—	—	320
	H-3	560	590	460	700	540

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質



2019/2/6地改良完了

2018/11/6地盤改良完了